

運営委員の選任（事後承認）

資料1

- 第5回運営委員会（H29.9.11）において、人事異動等の理由により3名の運営委員を臨時に選任した。
 - 2年間の任期途中でこの臨時の運営委員の選任は、WXBC細則第8条第2項に基づき行ったものであり、同条第3項により選任後最初の総会で事後の承認が必要であることから、この総会での承認を求めるものである。
- （敬称略：赤字が変更）

現時点		変更前（五十音順）		変更理由
遠山 雅之	（株）ウェザーニューズ セールス&マーケティンググループ グループリーダー	大木 雄治	（株）ウェザーニューズ セールス&マーケティンググループ グループリーダー	人事異動
大野 宏之	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 上級研究員	大野 宏之	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 上級研究員	
沖野 剛史	（株）東芝 技術・生産統括部 技術企画室 参事	沖野 剛史	（株）東芝 技術統括部 技術企画室 参事	
越智 正昭	（株）ハレックス 代表取締役社長	越智 正昭	（株）ハレックス 代表取締役社長	
木本 昌秀	東京大学大気海洋研究所 教授	木本 昌秀	東京大学大気海洋研究所 教授	
越塚 登	東京大学大学院情報学環 教授	越塚 登	東京大学大学院情報学環 教授	
櫻井 康博	（一財）日本気象協会 メディア・コンシューマ事業部 部長	櫻井 康博	（一財）日本気象協会 事業本部 事業統括部長	
菅波 潤	富士通（株） テクニカルコンピューティングソリューション事業本部 TC統括営業部 第三営業部長	菅波 潤	富士通（株） テクニカルコンピューティングソリューション事業本部 TC統括営業部 第三営業部長	
橘 克憲	（株）パスコ システム事業部 事業部長	橘 克憲	（株）パスコ システム事業部 事業部長	
田中 真司	ヤフー（株） メディアカンパニー ライフライン事業本部 Yahoo!天気・災害 サービスマネージャー	田中 真司	ヤフー（株） メディアカンパニー ライフライン事業本部 Yahoo!天気・災害 サービスマネージャー	
田原 春美	先端IT活用推進コンソーシアム 副会長	田原 春美	先端IT活用推進コンソーシアム 副会長	
中田 雅史	アサヒ飲料（株） 理事	新田 久	アサヒ飲料（株） 社長付執行役員	ご逝去
秦野 芳宏	（株）ローソン 経営戦略本部 本部長補佐	秦野 芳宏	（株）ローソン 経営戦略本部 本部長補佐	
平田 祥一郎	（株）三井物産戦略研究所 技術・イノベーション情報部 知的財産室 シニアマネージャー	平田 祥一郎	（株）三井物産戦略研究所 技術・イノベーション情報部 知的財産室 シニアマネージャー	
藤川 優	大塚製薬（株） 業務管理部 次長	藤川 優	大塚製薬（株） 業務管理部 次長	
大野 慎悟	三井住友海上火災保険（株） 商品本部 次世代開発推進チーム長	水上 淳一郎	三井住友海上火災保険（株） 商品本部 次世代開発推進チーム長	人事異動
村上 文洋	（株）三菱総合研究所 社会ICT事業本部 ICT・メディア戦略グループ 主席研究員	村上 文洋	（株）三菱総合研究所 社会ICT事業本部 ICT・メディア戦略グループ 主席研究員	
立仙 和巳	（株）日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 ビジネスプロデュース本部 主管	立仙 和巳	（株）日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 ビジネスプロデュース本部 主管	



人材育成WG 活動報告

1. 活動方針～活動実績
2. WXBCセミナー@東京(H29.5～H29.12)
3. WXBCセミナー@地方(H29.10～H30.2)
4. 気象データ分析チャレンジ！(H29.10～H29.11)

2018年2月13日(火)

気象ビジネス推進コンソーシアム
人材育成WG 田原 春美
(AITC 副会長、運営委員会議長)

人材育成WG 活動方針



- 活動開始：2017年6月2日
- 初期メンバー：9会員（2018/2/13現在：20会員）
 - 座長：AITC 田原 春美
 - 副座長：一般財団法人日本気象予報士会 岩田 修

●人材育成の活動方針について議論

活動目標

気象ビジネスの市場を拡大するために

- 1 気象データを活かしたビジネスを構想・企画できる人材を育成する
- 2 IoTやAIを利用する気象ビジネスを構想・企画・実現できる人材を育成する
- 3 気象データ、気象ビジネスを世の中に広めることのできる人材を育成する

活動方針

企業の枠、競合関係の壁を越えたオープンな活動を目指す

- ・各種情報の提供
- ・知見の伝播
- ・会員間交流の場の提供

対象者

- ・WGのすべての活動：WXBC会員の所属員
- ・セミナー：非会員も（会員勧誘活動の一環、気象ビジネスの普及啓発のため）

活動方法

- ・セミナー、勉強会（スタイル：座学、ワークショップ、演習等）
- ・出張講座（地域特性や業務業態に合わせたテーマ・内容で実施）
- ・日々の情報交換（ML、SNS等）
- ・Q & Aデスク（必要が認識された時点で考慮）

【主な意見】

- ・気象ビジネスのマーケットを作らなければいけない。
- ・気象に興味を持ってもらうことが重要。
- ・天気予報を気象データだと思っている人が多い。
- ・業務の課題は分かっているが、掘り下げることができず、どう気象データを扱ってよいのか分からない人が多い。
- ・気象予報士の試験が難しい上に、資格を取ってもビジネスに繋がらない現実がある。
- ・気象データ活用のファシリテーションができる人材がなかなかおらず、これを育成することがWGの求める人材育成に繋がっていく。

(敬称略)

座 長：AITC 田原 春美

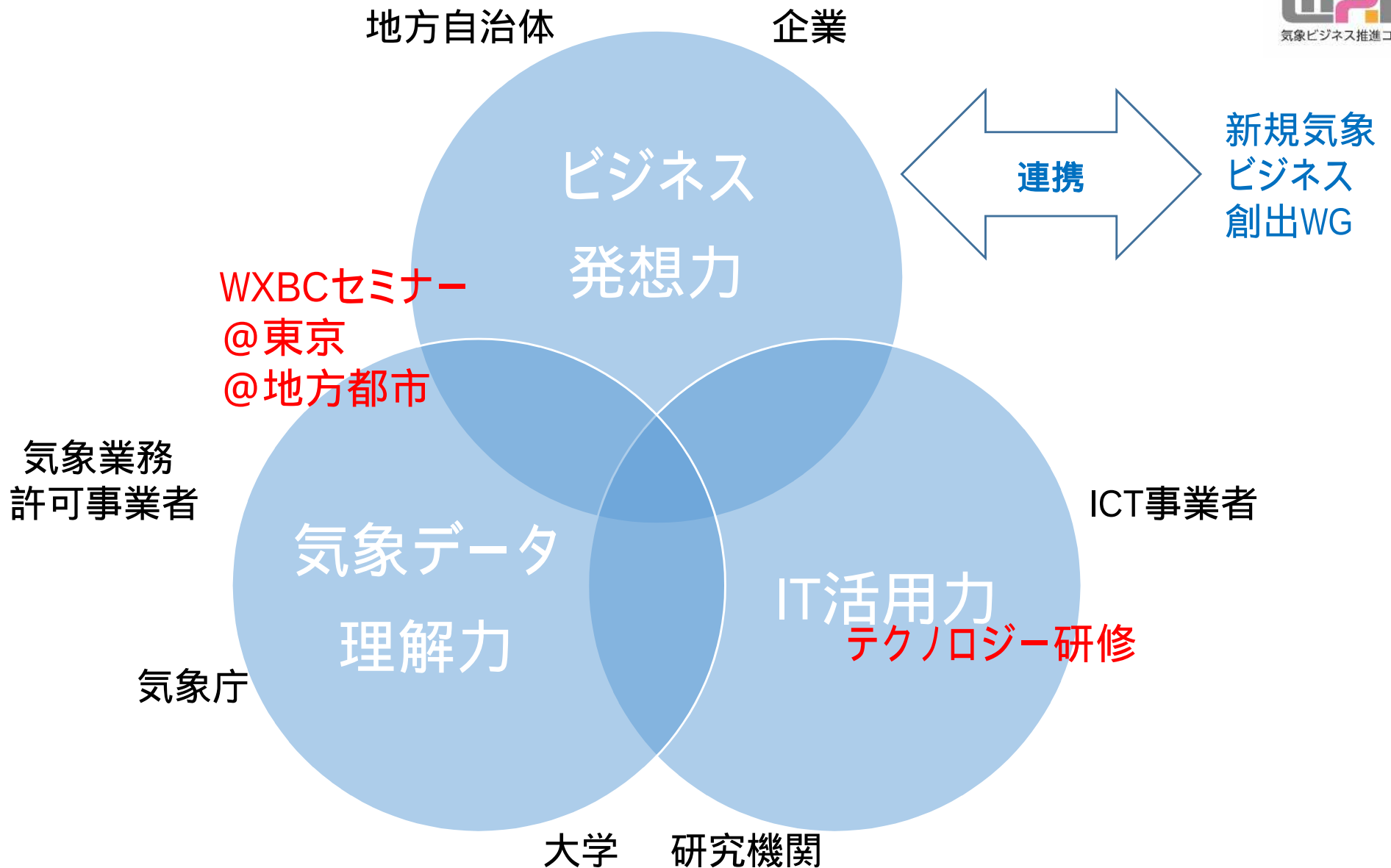
副座長：(一財)日本気象予報士会 岩田 修

所属		備考	所属		備考
1	株式会社アイシーエス	新規	16	ハイパーアグリ株式会社	
2	株式会社石川コンピュータ・センター		17	株式会社日立製作所	運営委員
3	AITC	運営委員	18	富士通株式会社	運営委員
4	岐阜大学大学院		19	株式会社ヘルシーワンコーポレーション	新規
5	光陽無線株式会社	新規	20	株式会社北海道総合技術研究所	
6	株式会社ジオテック技術士事務所	新規	21	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社	
7	JapanTaxi株式会社		22	ホッピービバレッジ株式会社	
8	一般社団法人全国清涼飲料連合会		23	株式会社マーチャンダイジング・オン	
9	国立大学法人徳島大学		24	株式会社マルツ電波	新規
10	日通学園流通経済大学		25	株式会社レッドマルスAD ベンチャー	
11	一般財団法人日本気象協会	運営委員	26	株式会社ルグラン	新規
12	一般社団法人日本気象予報士会				
13	公益社団法人日本バス協会				
14	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構	運営委員			
15	株式会社ハレックス	運営委員			

- 第1回：平成29年6月2日
 - ・座長・副座長の互選
 - ・人材育成WGの活動方針について
 - ・第1回セミナー（5/30開催分）結果について（速報）
 - ・第2回セミナーの内容について
- 第2回：平成29年6月21日
 - ・今後のセミナーの内容について
 - ・人材育成の課題検討
- 第3回：平成29年7月19日
 - ・第2回WXBCセミナー申込状況、8/4（金）予備日開催判断
 - ・人材育成の課題検討
- 第4回：平成29年8月23日
 - ・第3回WXBCセミナーについて
 - ・人材育成の課題検討
- 第5回：平成29年9月5日
 - ・人材育成の課題検討
 - ・テクノロジー研修第1弾「気象データ分析チャレンジ！」企画案
- 第6回：平成29年11月8日
 - ・第3回WXBCセミナー（9/26開催）アンケート事務局分析
 - ・第4回WXBCセミナーの企画案について
 - ・「気象データ分析チャレンジ！」（10/20、11/7開催分）について
 - ・WXBCセミナーin大阪（10/31開催）について
 - ・WXBC 平成29年度地方セミナー開催計画
 - ・今後のテクノロジー研修計画について
- 第7回：平成29年12月21日
 - ・第4回WXBCセミナー（12/1開催）アンケート事務局分析
 - ・WXBC地方セミナー
 - ・テクノロジー研修第1弾「気象データ分析チャレンジ！」
 - ・次年度活動計画
 - ・人材育成WGメンバーのための活動
- 第8回：平成30年2月1日
 - ・WXBC地方セミナー
 - ・第5回WXBCセミナー
 - ・次年度活動計画
 - ・人材育成WGメンバーのための活動
- 第9回：平成30年3月5日（予定）

活動目標: 気象ビジネスの構想 & 実現に必要なスキルの醸成

初年度は気象データの理解と認知の向上に注力！



活動報告：人材育成WG 初年度のあゆみ - 1

活動一覧



2017年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2018年 1月 2月 3月

WG開催 計9回 (6/2発足, 6/21, 7/19, 8/23, 9/5, 11/8, 12/21, 2018/2/1, 3/5)

セミナー@東京

セミナー@東京

セミナー@東京

セミナー@東京

@
東京

セミナー@東京

セミナー@大阪

セミナー@福岡

セミナー@沖縄

セミナー@大阪

セミナー@名古屋

セミナー@仙台

セミナー@札幌

研修パッケージ開発

データ分析チャレンジ！

データ分析チャレンジ！

データ分析チャレンジ！

【公開資料】

一般公開：WXBCセミナー@東京 & 地方
会員限定：気象データ分析チャレンジ！

活動報告：人材育成WG 初年度のあゆみ - 2

各種の気象データとビジネス事例のご紹介@東京



毎回実施：「気象データの全体像と入手方法」紹介、質問コーナー設置、気象庁現業室 & 気象科学館見学

	気象データ	気象データの紹介 + 事例紹介
第一回	気象リスク管理	・気象リスク管理の基礎～気象によるビジネスリスクの管理～ ・農業における気象ビジネスの展開に向けて～気象と農業～（農研機構様）
第二回	短期予報	・短期予報・週間予報・異常天候早期警戒情報について ・気象と物流（日本気象協会様）
第三回	気象観測データ	・気象観測データの利用について～主な観測データの概要とその利活用 ・観測データとPOSデータを使用した気象と産業の関係分析と実習 ・天候デリバティブ商品と具体事例紹介（三井住友海上火災保険様） ・天候インデックス保険の取り組み（損害保険ジャパン日本興亜様）
第四回	海洋情報 紫外線情報	・さまざまな海洋情報、紫外線情報の改善について ・気象海象情報の戦略的活用の現状とHowWonderfulから始まる取り組み（ウェザーニューズ様） ・海流発電システムの開発～黒潮からの発電を目指して～（IHI様）

地域特性に合わせた地方セミナーの実施

10月

11月

12月

1月

2月

企画

大阪：10/31

沖縄：11/9
名古屋：11/15
札幌：11/21

福岡：1/29
大阪：1/30

仙台：2/9

気象データの全体像と入手方法

&

地域特性に沿った事例紹介

&

交流会 / 意見交換会



活動報告：人材育成WG 初年度のあゆみ - 4

開催地	対象分野	地域特性に合わせた事例紹介
札幌	農業	・寒冷地の気象資源を活用した農業技術および農業気象情報システムの開発 (農研機構 北海道農業研究センター様) ・アナリティクスで生まれ変わる気象情報ビジネス(ハレックス様)
仙台	サービス業、 販売業	・気象と物流(日本気象協会様)
名古屋	製造業 農林水産業	・気象と物流(日本気象協会様) ・天候デリバティブ(三井住友海上火災保険様)
大阪	中小の製造業 製造業、IT	1回目：・アナリティクスで生まれ変わる気象情報ビジネス(ハレックス様) ・気象情報を活用した商品需要予測と物流の効率化(日本気象協会関西支社様) 2回目：・清涼飲料の販売における気象データの活用(全国清涼飲料連合会様) ・天候デリバティブと天候に関する保険(損害保険ジャパン日本興亜様) ・ITとの融合で益々面白くなる気象データ活用の未来(YuMake様)
福岡	IoT、AIを利用 したい企業	・気象データとセンサーデータとの連携活用による都市サービスの高度化 (九州大学 高野教授) ・農業IoTソリューション「e-Kakashi」のご紹介(日立様&PSソリューションズ様) ・ITと気象データをからめたビジネス活用の勘どころ～ユーザー企業の視点から～ (ポッカサッポロフード&ビバレッジ様)
沖縄	観光業、IT	・RESAS(地域経済分析システム)を活用した地域振興 (内閣府沖縄総合事務局経済産業部様) ・気象データを利活用することによる沖縄産業界の有望性と未来像(レキオソフト様)

活動報告：人材育成WG 初年度のあゆみ - 5



↑ セミナー@東京
セミナー@大阪 ↓

↑ 気象庁現業室見学
@沖縄 ↓



活動報告：人材育成WG 初年度のあゆみ - 6



↑ セミナー@名古屋
セミナー@福岡 ↓

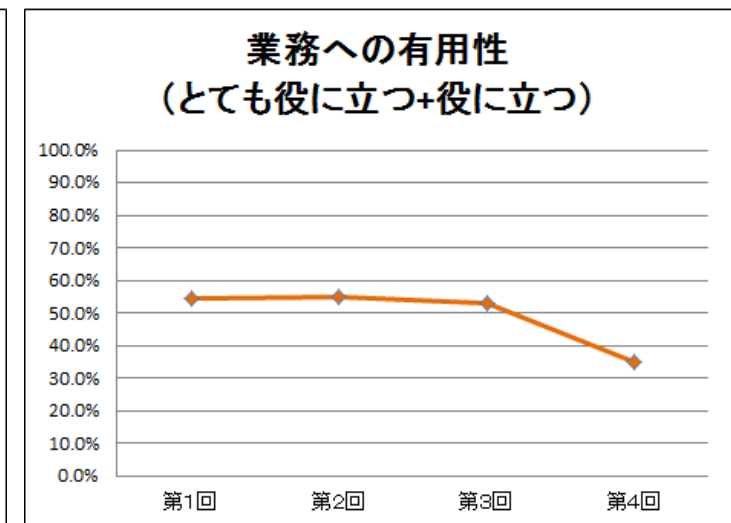
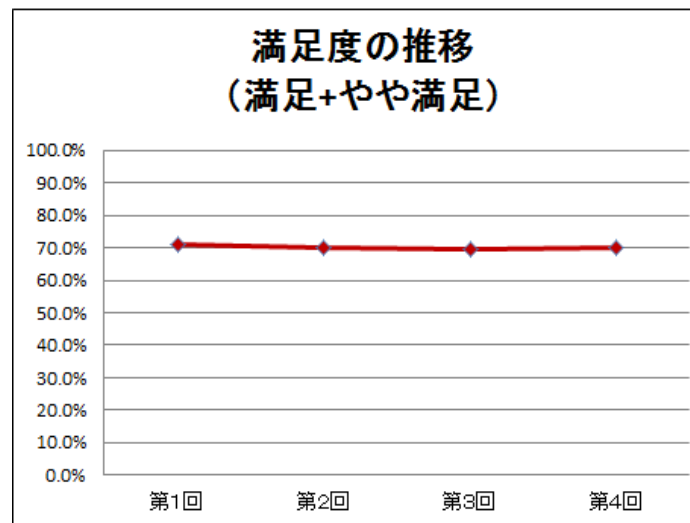
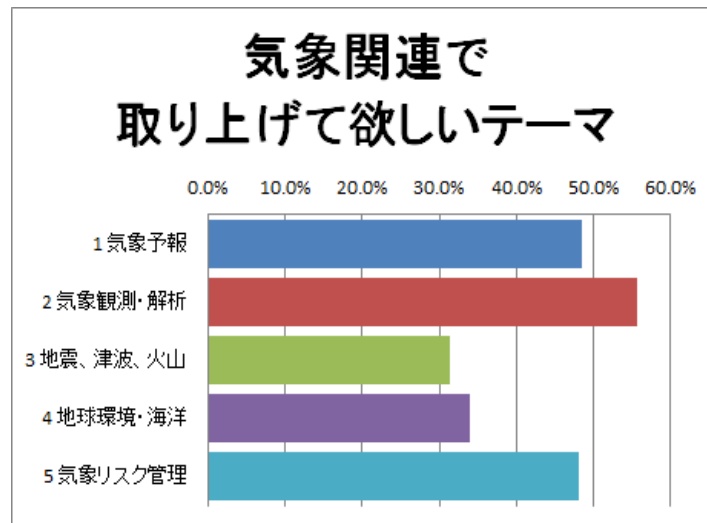
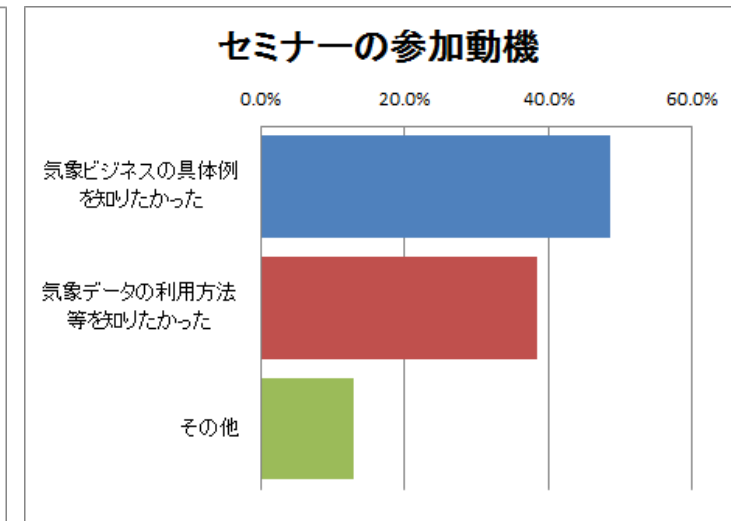
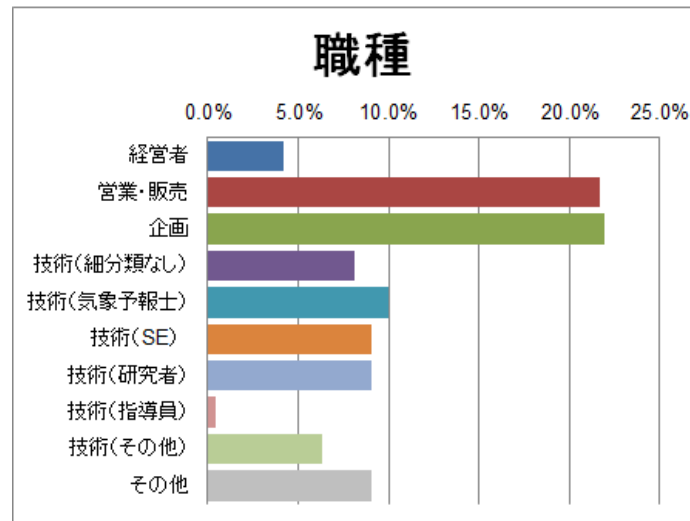
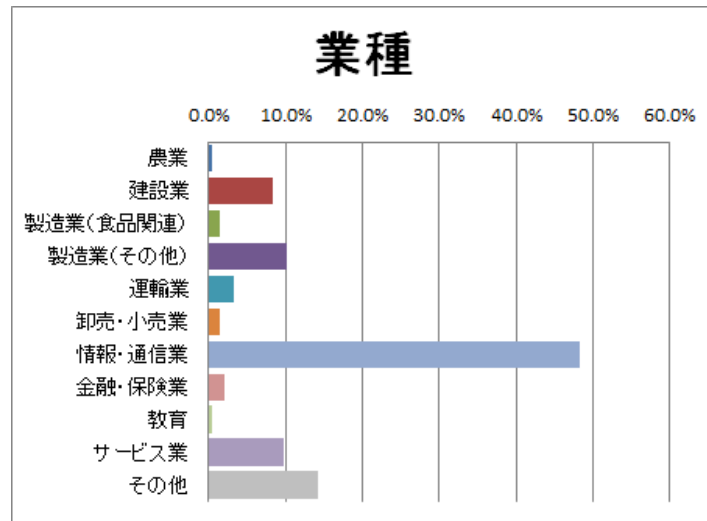


↑ @札幌
@大阪(第2回) ↓



活動報告：人材育成WG 初年度のあゆみ - 7

WXBCセミナー@東京（参加者507名）アンケート・サマリー



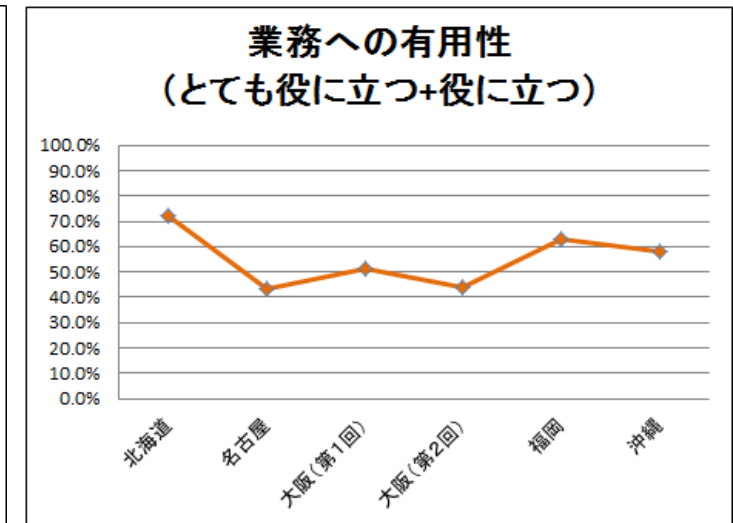
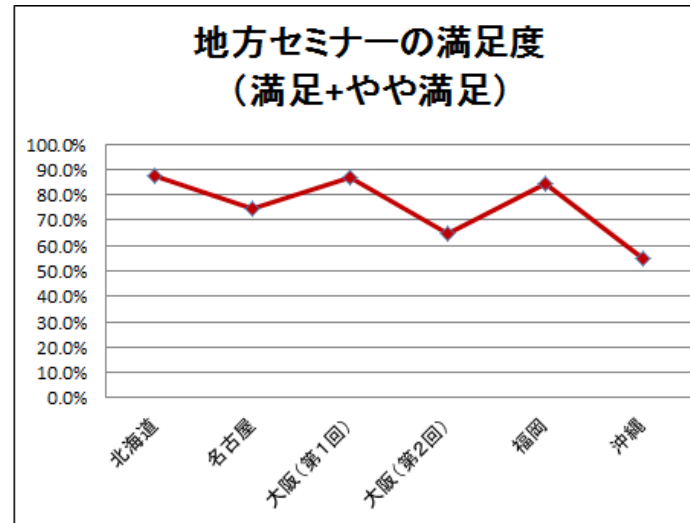
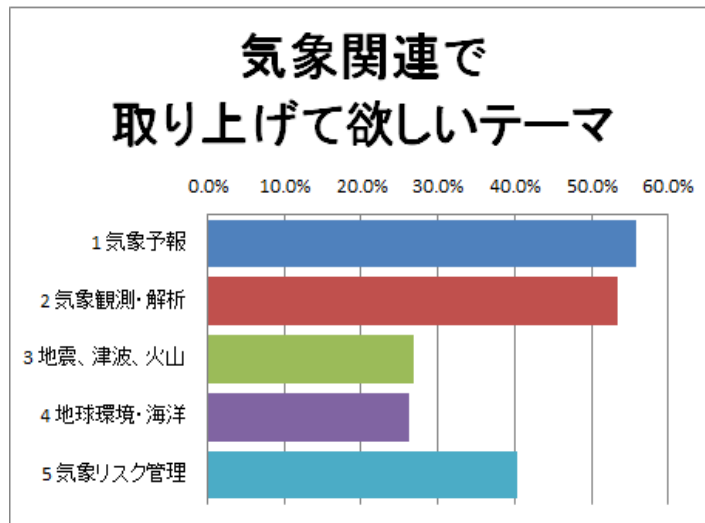
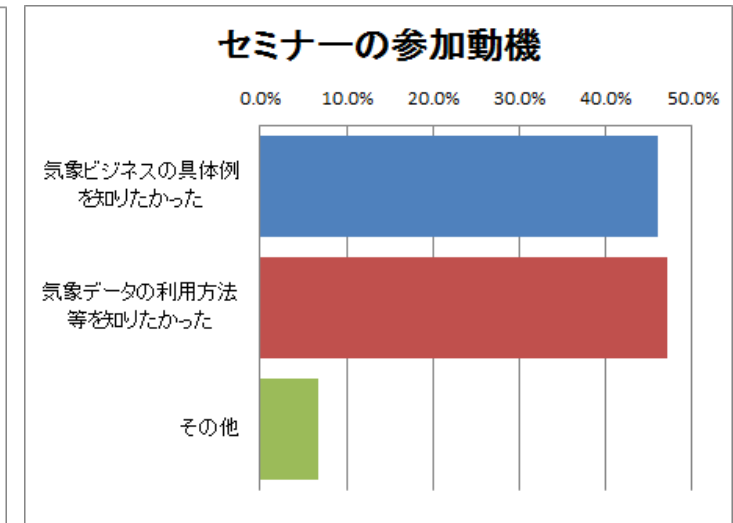
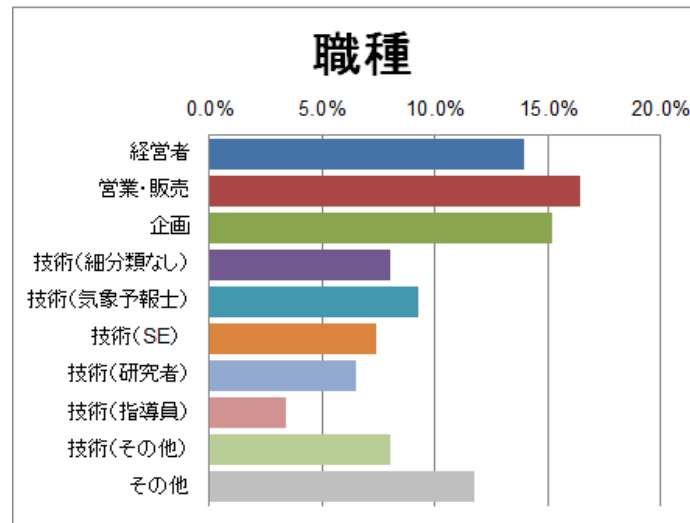
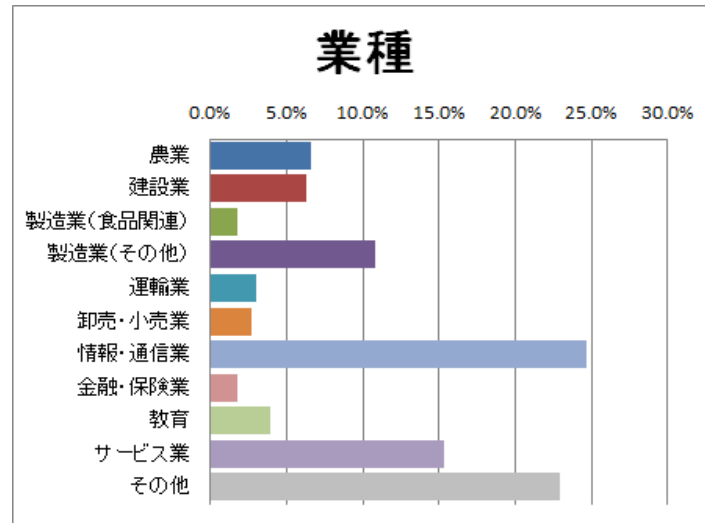
【参加者からのご意見や感想】

- 気温とビジネスの相関関係は知っていたが、知らない事例もあり良かった。
- 簡単ではあるが分析例が丁寧に説明されて良かった。
- A I の活用、予測・予報の精度について聞いてみたい。
- ビジネス活用の紹介分野を幅広く、何社もお願いしたい。

- 長期予報の精度が課題と感じた。
- リスク回避やロスの軽減をするために、コストがどの程度かかったか示してほしい。
- 今後も技術面・ビジネス面の両面でセミナーを行ってほしい。

活動報告：人材育成WG 初年度のあゆみ - 8

WXBCセミナー@地方（仙台以外6回：参加者428名）アンケート・サマリー



【参加者からのご意見や感想】

- 参考になりました。今後の事業戦略に役立てたいと思います。
- 気象データが沖縄の観光産業や関連産業の発展につながる可能性について学習できた。
- 気象データという公平で客観的なビッグデータをもっと活用すべきだと感じた。

- 企画・アプリの制作などのワークショップを開催してほしい。
- 意外性のある分野の話も聞いてみたい。
- 農業に対してもっと高度な内容も聞いてみたい。
- 今後も継続して定期的に今回のようなセミナーを実施してほしい。

テクノロジー研修第一弾：気象データ分析チャレンジ！



参加資格：WXBC会員、全3回に参加可能な方

対象者：Excelの基本操作ができ、
気象情報を活用して企画、提案を行いたい人

ゴール：気象データに慣れ、他データを掛け合わせた
分析を行い、可視化すること

進め方：座学＋演習（個人ワーク、グループワーク）

第1回（10/20）データの取得～気象データや掛け合わせる対象のデータに触ってみよう！

第2回（11/07）分析手法～対象データと気象の関係を考え、仮説を立ててみよう！

第3回（11/20）自分で応用するには～気づきを共有しよう！～

< 講師陣 & 研修パッケージ開発チーム >



活動報告：人材育成WG 初年度のあゆみ - 2

岐阜大 吉野先生の
名ファシリテーション

1回目、座学に続いて、早速に演習開始
先ずは、個人ワーク

1:1の手厚いサポート



2回目はグループワークで仮題検証に挑戦

3回目にチーム発表、気づきを共有



「気象データ分析チャレンジ！」のご紹介：

ビジネスフォーラム(吉野先生ご講演)、展示(岐阜大学ブース)

気象データ分析チャレンジ！：仮説と検証の繰り返し

目的に対して、知識・経験から「なにかありそうだ」と感じたこと

直感

分析の方法が決まる

仮説と照らし合わせて検証

言語化

繰り返し

分析

仮説

知識・
経験

フィードバック

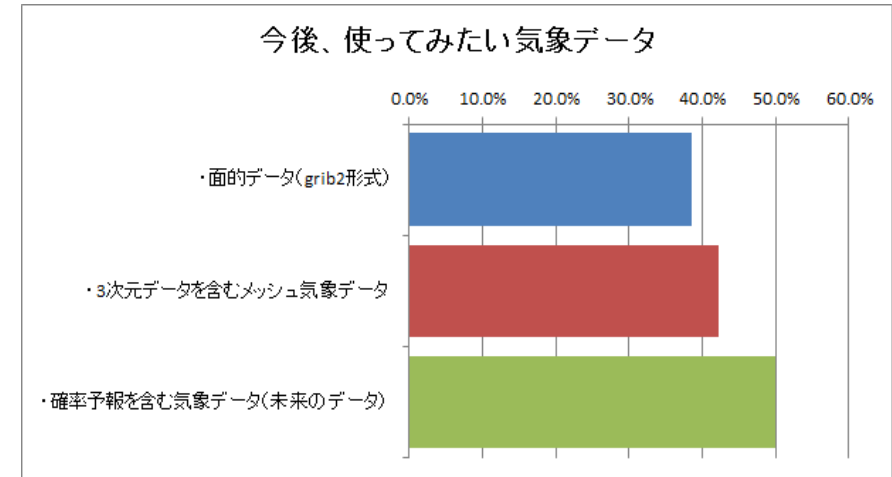
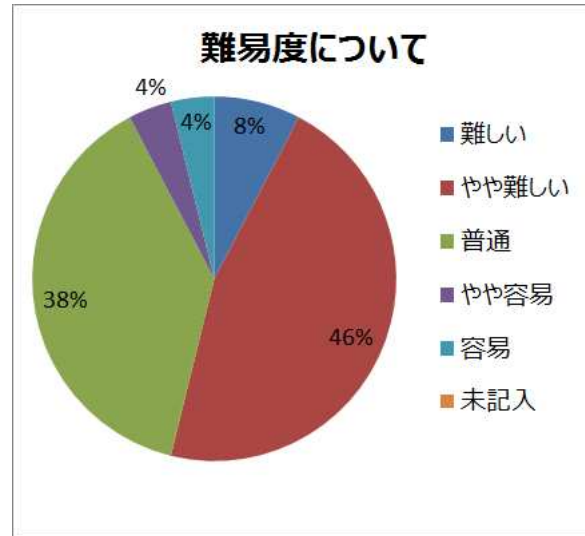
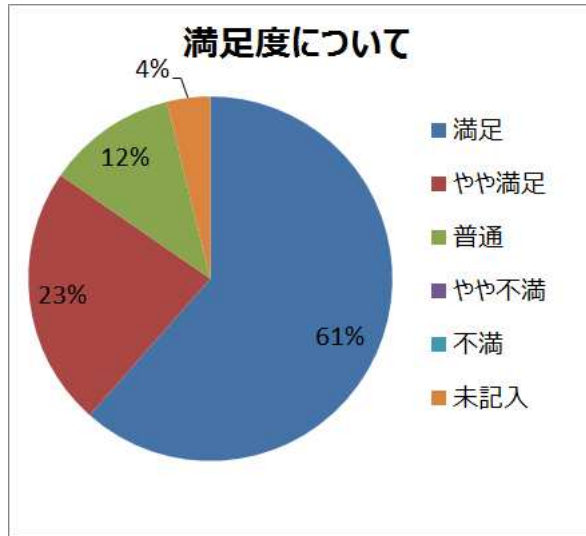
意思決定

知識や経験がブラッシュアップされ、「直感」の精度が上がる

適切な意思決定ができる

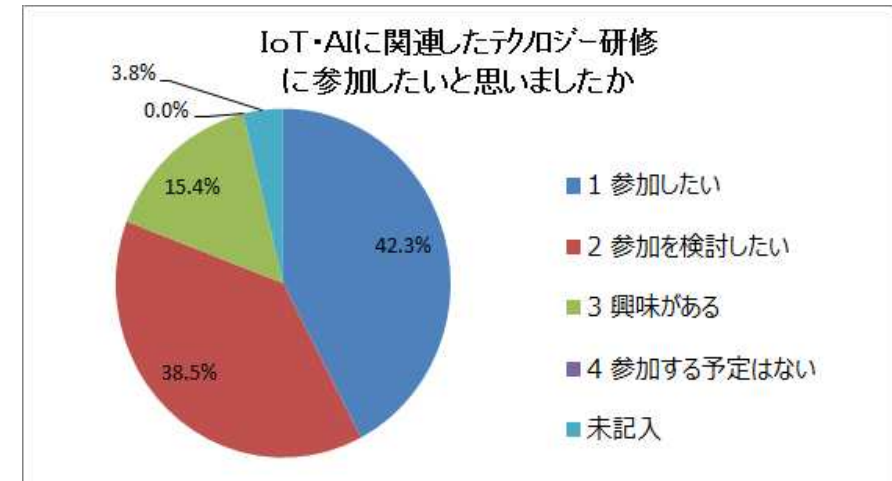
仮説と分析の繰り返しにより本質の理解に近づく

気象データ分析チャレンジ！（参加者28名） アンケート・サマリー



【参加者からのご意見やご感想】

- 演習と座学のバランスが良く、大変勉強になりました。基礎的な考え方は固まったのであとは独学で実践の中でスキルを発展させていきたいと思います。
- 現場の方からデータやその活用について直接教えていただけ、大変貴重な体験となりました。
- Excelで簡単に分析や実証ができるのが面白い。敷居が低いので取り組みやすい。
- 実際に仮説を立てて分析をすることで、難しさを体験できたのが良かった。
- 人によってさまざまな気付きがあることが分かりました。今後も気象データを利用した分析をして、ビジネスにつなげていきたいです。
- 今回のような勉強会をまた開催していただきたいです。



メッシュデータや確率予報データ等、まだまだやりたいことがたくさん！
続きは、第2弾、第3弾の「気象データ分析チャレンジ！」で！！

平成29年度 新規気象ビジネス創出WG 活動報告

平成30年2月13日(火)
新規気象ビジネス創出WG
座長 村上 文洋

- 1 . 新規気象ビジネス創出WG開催履歴
- 2 . WGメンバーによるアイデアソン体験（H29.9.4）
- 3 . お天気データで未来を描くアイデアコンテスト開催（H30.1.19）
- 4 . 気象データの利活用事例集作成

新規気象ビジネス創出WG活動報告

● 新規気象ビジネス創出WGメンバー

(敬称略) 座長：三菱総合研究所 村上 文洋、 副座長：富士通(株)菅波 潤

所属		備考	所属		備考	所属		備考
1	株式会社IHI		2 1	シャープ株式会社		4 1	株式会社北海道総合技術研究所	
2	株式会社アイシーエス	新規	2 2	新日鉄住金ソリューションズ株式会社		4 2	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社	
3	石川コンピュータ・センター		2 3	株式会社スポーツウェザー		4 3	株式会社日立製作所	運営委員
4	株式会社ウェザーニューズ	運営委員	2 4	一般社団法人全国清涼飲料連合会		4 4	富士通株式会社	運営委員
5	NTT空間情報株式会社		2 5	ソフトバンク株式会社		4 5	株式会社フランクリンジャパン	
6	株式会社NTTデータ経営研究所		2 6	TISソリューションリンク株式会社		4 6	株式会社ポッケ	
7	M-SAKUネットワークス		2 7	株式会社TRUEDATA		4 7	ホッピービバレッジ株式会社	
8	株式会社エムティーアイ		2 8	株式会社東芝	運営委員	4 8	株式会社マーチャングライジング・オン	
9	応用地質株式会社		2 9	徳島大学		4 9	株式会社マルツ電波	新規
1 0	大塚製薬株式会社		3 0	日通学園流通経済大学		5 0	三井住友海上火災保険株式会社	
1 1	沖電気工業株式会社		3 1	日本IBM株式会社		5 1	株式会社 三菱総合研究所	運営委員
1 2	株式会社環境エネルギー研究所		3 2	日本気象株式会社		5 2	株式会社ミライト・テクノロジーズ	
1 3	経営パワー株式会社		3 3	日本電信電話株式会社		5 3	明星電気株式会社	
1 4	株式会社構造計画研究所		3 4	株式会社日本ネットワークサービス		5 4	地方独立行政法人山口県産業技術センター	
1 5	光陽無線株式会社	新規	3 5	一般社団法人日本能率協会		5 5	株式会社ライフビジネスウェザー	
1 6	国際航業株式会社		3 6	公益社団法人日本バス協会		5 6	株式会社 Realmedia Lab .	
1 7	佐川急便株式会社		3 7	NextDrive株式会社	新規	5 7	リアルワールドゲームス株式会社	
1 8	株式会社ジオテック技術士事務所	新規	3 8	ハイパーアグリ株式会社		5 8	株式会社レッドマルスADベンチャー	
1 9	シムマヤジオ合同会社	新規	3 9	株式会社パスコ	運営委員	5 9	株式会社ローリス	
2 0	JapanTaxi株式会社		4 0	株式会社ハレックス	運営委員			

青文字：新規参加希望。3/15予定の運営委員会にて承認予定。

新規気象ビジネス創出WG活動報告

1．新規気象ビジネス創出WG開催履歴

- 第1回：平成29年6月7日
 - ・座長・副座長の互選
 - ・新規気象ビジネス創出WGの活動方針について
- 第2回：平成29年7月3日
 - ・新規気象ビジネス創出WGの活動内容について
 - ・アイデアソンの実施とテーマについて
- 第3回：平成29年7月27日
 - ・人材活用について
 - ・ビジネスにおける気象情報の利活用事例について
- 第4回：平成29年9月4日
 - ・アイデアソン体験
 - ・アジアオープンデータハッカソン報告
 - ・気象情報利用に関するアイデア創出イベントの開催について（素案）
 - ・ビジネスにおける気象情報の利活用事例について
- 第5回：平成29年11月6日
 - ・気象データ活用のためのアイデアソンイベントについて
 - ・ビジネスにおける気象情報の利活用事例集の作成について（再依頼）
 - ・WGにおける当面の検討事項について
 - ・気象ビジネス実態調査への協力依頼（事務局）
 - ・人材育成WGの活動状況
- 第6回：平成30年2月2日
 - ・1/19お天気データで未来を描くアイデアコンテスト報告
 - ・ビジネスにおける気象情報の利活用事例集について
 - ・2/13WXBC総会・気象ビジネスフォーラムについて
 - ・2/13第2回WXBC総会資料（案）

新規気象ビジネス創出WG活動報告

2. WGメンバーによるアイデアソン体験（H29.9.4）

H29.9.4（月）の第4回新規気象ビジネス創出WGにおいて、今後のWGの活動に繋げていくことを目的に、「気象×○○（観光、子育てetc.）」のテーマでアイデア集めを体験。

- 場所：富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター
- グループ：7班
- スケジュール：10:00-10:15 オリエンテーション&アイスブレイク
10:15-10:30 アイデア出し（3分×4回）
10:30-10:45 アイデアシート作成（15分）
10:45-11:00 投票（15分）
11:00-11:20 プレゼンテーション（3分×6件程度）



アイスブレイク



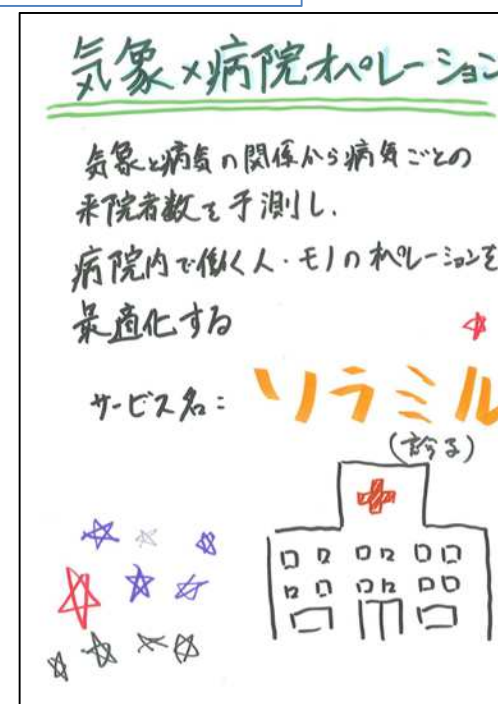
アイデア出し



アイデアシート作成



投票



優勝アイデア

新規気象ビジネス創出WG活動報告

3 . お天気データで未来を描くアイデアコンテスト開催 (H30.1.19)

○ アイデアコンテスト概要

学生、気象ビジネス推進コンソーシアムの会員企業、気象予報士で編成されるチームが、気象・お天気をテーマに人々の暮らし・生活を豊かにする未来のサービスやビジネスソリューションをその場で考え、発表を実施。さらに、5名の審査員が、来場した見学者（オブザーバー）による投票結果とあわせてアイデアの審査を行い、結果発表、表彰を実施。

目的

- ・気象ビジネスコンソーシアムの活動を、報道などを通じて広く世間にアピールする
- ・参加者に世の中に流通している気象データの要素・形式など認知させ、活用の可能性について気づいてもらう
- ・気象予報士の活躍の場が拡大する可能性を探る目的

テーマ

降っても晴れてもHAPPY♪ お天気データで未来を描くアイデアコンテスト
～お天気データで私たちの暮らしをさらに便利で豊かに～

開催日時

2018年1月19日(金) 10:00-17:30 (交流会 17 : 30～18 : 30)

開催場所

富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター (東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 30階)

参加者

学生 : 17、企業会員 : 18名、気象予報士 : 8名 計43名
(8グループに分かれ (A～G)、グループ毎にアイデア創出)

審査員

村上 文洋 氏 (審査員長、(株) 三菱総合研究所 主席研究員、WXBC 新規気象ビジネス創出WG座長)
南 利幸 氏 (気象予報士、(株) 南 気象予報士事務所)
田原 春美 氏 (先端IT活用推進コンソーシアム副会長)
吉本 豊 氏 (経済産業省 商務情報政策局 商務情報政策統括調整官)
木村 達哉 (気象庁 総務部 情報利用推進課長)

新規気象ビジネス創出WG活動報告

3 . お天気データで未来を描くアイデアコンテスト開催 (H30.1.19)

○ アイデアコンテスト概要

主催

気象ビジネス推進コンソーシアム
気象庁

後援

経済産業省
先端IT活用推進コンソーシアム
一般社団法人日本気象予報士会
一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構(VLED)
非営利活動法人気象キャスターネットワーク
東京大学大学院情報学環 ユビキタス情報社会基盤研究センター
地球ウォッチャーズ - 気象友の会 -

協賛

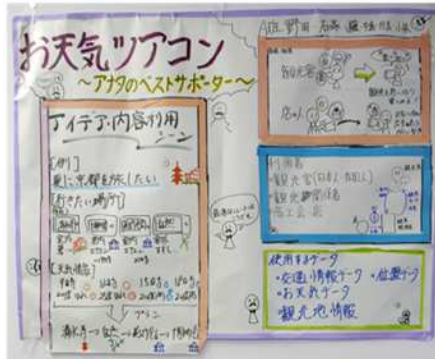
アサヒ飲料株式会社
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
リアルワールドゲームス株式会社
株式会社ハレックス
株式会社 日立製作所
富士通株式会社

新規気象ビジネス創出WG活動報告

3. お天気データで未来を描くアイデアコンテスト開催 (H30.1.19)

○発表アイデア一覧

Aグループ
お天気ツアコン
～アナタのベストサポーター～



Bグループ
日本の天気を楽しむ
～みんなの暮らしをもっと快適に！～



Cグループ
お天気そんたく
～みんなの暮らしをもっと快適に！～



Dグループ
フォトクエスト
～あの景色を撮りに行こう～



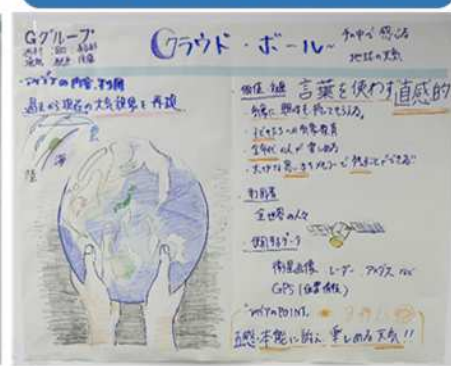
Eグループ
お天気データdeスマートライフ
～観天望気の力を身に付ける～



Fグループ
クラウドリウム
～観天望気の力を身に付ける～



Gグループ
クラウド・ボール
～手の中で感じる地球の天気～



Hグループ
Just Location!!
お天気映え情報サービス



新規気象ビジネス創出WG活動報告

3. お天気データで未来を描くアイデアコンテスト開催 (H30.1.19)

◎表彰結果

★ WXBC会長賞



G

クラウド・ボール
～手の中で感じる地球の天気～

★ 気象庁特別賞



E

お天気データde
スマートライフ

★ モンキーポッド賞 (日立賞)



H

Just Location!!
お天気映え情報サービス

★ ハレックス賞



A

お天気ツアコン
～アナタのベストサポーター～

★ リアルワールド ゲームス賞



D

フォトクエスト
～あの景色を撮りに行こう～

新規気象ビジネス創出WG活動報告

4．気象データの利活用事例集作成

- 気象データがビジネスに有効に活用できることを企業の皆様にお伝えすることにより、より多くの企業の皆様に気象データをご活用いただけるよう、ビジネスにおける気象データの利活用事例集を作成。
- WXBC総会・気象ビジネスフォーラム（2/13）にて皆様に配布するとともに、WXBCホームページに公開。
- 今後、新しいビジネス事例が出てきたら随時追加。



アジアオープンデータハッカソン2017開催報告 —日本のテーマは気象データの有効活用—

株式会社三菱総合研究所 社会ICTイノベーション本部
主席研究員

村上 文洋

1 | アジアオープンデータハッカソン 2017

2017年9月15日（金）、アジアオープンデータハッカソン2017の表彰式が台湾・台北市で行われた。アジアオープンデータハッカソンは、2015年から台湾が中心となって取組んできたイベントで、2017年5月11日（木）に、台湾のOpen Data Allianceと、日本の一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構（VLED）の間で、オープンデータに関する相互協力の覚書が締結されたのをきっかけに、日本も参加することになった。日本、台湾以外には、韓国、タイが参加した。

7月22（土）の国際インプットセミナーから始まり、8月5日（土）、6日（日）には丸2日かけてハッカソンを行い、8月19日（土）にはデモデイが行われた（表1）。国際インプットセミナーでは、参加4カ国の会場をネットで結んで、各国のテーマや提供するオープンデータなどが紹介された。日本のテーマは「気象データの有効活用」。2017年3月に気象ビジネス推進コンソーシアムが立ち上がったこ

とや、気象データを活用した防災・災害対応などは参加各国の共通課題であることなどから、このテーマが選ばれた。その他は、台湾が「食の安全」、韓国が「政府の透明性」、タイが「社会経済格差」である。

日本側のイベントの主催は、前述のVLEDとOpen Knowledge Japan（OKJP）。データ提供には気象庁の協力も得た。運営は株式会社HackCampに委託した。

日本では、東京、大阪、富山の3会場でハッカソンが行われ、全部で約90名が参加した（図1）。最年少は富山会場の小学3年生。計19作品が開発され、この中から主催者と事務局で5作品を選定した。

選定された5作品は、デモデイに向けてさらにアプリをブラッシュアップするとともに、英語のプレゼン資料の作成やスピーチの練習などを行った。

デモデイは各国で予選を通過した5チーム（計20チーム）が、それぞれ5分でプレゼン。各国3名（計12名）の審査員が審査し、各国上位2チームを選定した（表2）。

開催日	イベント内容	開催場所（日本）
2017年7月22日（土）	国際インプットセミナー	SENQ霞ヶ関（東京会場） ※4カ国をネットでつないで開催 ※大阪会場、富山会場にも中継
2017年8月5日（土）・ 8月6日（日）	ハッカソン	Samurai Startup Island（東京会場） アベノハルカス（大阪会場） 真成寺会館（富山会場）
2017年8月19日（土）	デモデイ	SENQ霞ヶ関（東京会場） ※4カ国をネットでつないで開催

（出典）著者作成

表1 アジアオープンデータハッカソンの開催概要



(出典) HackCamp 撮影

図1 ハッカソンの様子 (東京会場)

作品名	チーム名	参加会場	概要	受賞
STANDY	STANDY	東京	人工知能のディープラーニングによって気象データだけでなく、想定ユーザーである子供1人1人の感情まで予測。遊ぶ場所の提案や友達作りのきっかけを提供するアプリ。	最優秀賞 AITalk特別賞
Always Sunny	Always Sunny	東京	目的地までの経路の気象情報を地図情報と連動。これまでの移動に適した道路情報だけではなく、経由地の天気情報も組み合わせた最適な経路選択を可能に。	優秀賞 国際オープンデータ賞
そらつり	うーみん	大阪	空を海に見立てて「上を向いて」釣りを体験を、AR技術と気象の独自パラメータを用いて提供するアプリ。	Team's choice賞
Noah	Noah	富山	時計で時刻を確認するような手軽さで、予め登録した河川の最新の水位を可視化できるアプリ。	
Weather filter	自宅警備員biz.	東京	気象データをライブラリでフィルタリングできる仕組み。汎用性が高く、様々な形式のデータを手軽に入手・提供することができる。	

(出典) 著者作成

表2 日本で開発された作品 (計19) のうち予選を通過した5作品と受賞結果

2 | 優秀チームの作品

最優秀賞(日本の1位)を受賞したのは「STANDY」(図2)。天候などで子供の機嫌が変わることを独自の数式で「uzu uzu 指数」として定量化し、ディープラーニングなども駆使して、遊び場の提案や友達作りのきっかけを提供するというユニークなアプリ。独自にデザインした熊のキャラクターのかわいらしさや、ハッカソンのスポンサーの一社である株式会社エーアイの音声合成ソフト「AITalk」を使った楽しい会話、そして完成度の高さなどから高い評価を得た。

優秀賞(日本の2位)を受賞した「Always Sunny」は、通常の経路検索に気象データを組合せたアプリ。ドライブする際に経路上の天候を確認したり、複数のルートがあるときは天候のよいほう

を選択したりできるなど、利便性とわかりやすさが高く評価された。

最優秀賞と優秀賞の2チームが、9月15日(金)の台湾での表彰式に招待された。

惜しくも上位2チームからは漏れたが、参加チームの相互投票で「Team's choice賞」に輝いたのが「そらつり」。大阪会場がアベノハルカスだったことから、超高層ビルの特徴を活かしてARを使った魚釣りのゲームアプリを開発した。高度(気圧)を水深(水圧)に見立て、高い位置ほど深海魚が釣れたり、その日の気圧によって魚が出てくる高さが変わったりするユニークな作品。お魚大好きというリーダーの女子大生の思いが形になった。

その他の作品も、惜しくも選には漏れたが、どれもユニークな作品ばかりで、質の高さを感じるハッカソンだった。



(出典) チーム「STANDY」

図2 最優秀賞に選ばれた「STANDY」

3 | 国際色豊かなハッカソン

海外と共同で行うハッカソンの企画・運営に携わるのは初めての経験で、株式会社HackCampの支援なしでは成功しなかったと思う。また、各国それぞれ文化や習慣が異なり、しかもオンラインでのコミュニケーションが主体であったことから、物事がなかなか決まらなかったり、一度決まったことがすぐに変更されるなど、準備段階では（特にHackCampの担当の青木さんの）苦労も多かった。一方、各国の課題に対する真摯な取組み姿勢や熱意などを感じられた。特に台湾は、最初から海外での利用も視野に入れた作品が多く、まず国内で成功して、その後海外へという考え方が主流の日本との違いを感じた。また、今回、最優秀賞、優秀賞を受賞した2チームは、マレーシア、インド、ロシアなど海外メンバーも参加した国際色豊かなチームで、開発のコミュニケーションも英語で行っていた。日本でも今後はこのような風景が当たり前になるように思う。

4 | 「気象データアナリスト」の育成

今回のハッカソンには、実はもうひとつ狙いがあった。それは気象予報士の参加である。

国際インプットセミナーには、気象予報士の三浦まゆみさんが登壇し、気象データの活用方法などを解説した。三浦さんはデモデいの審査員も努めた。また、ハッカソンには、三浦さんを含めて計4名の気象予報士が参加し、開発チームに対して気象の専門家の見地からアドバイスを行った。これにより、各開発チームは様々な気象データの活用可能性を検討でき、一方、気象予報士の方々も、これまでとはまったく違う気象データの活用方法が次々と出てくるのを見て、すごく刺激になったという。

今後、行政、企業、地域など様々な主体が、もっと気象データを有効活用するためには、これらの主

体と気象データをつなぐ人材の育成が不可欠である。今回のようなイベントを通して、気象データの新たな可能性を発見し、企業や開発者などと接点を持つことで、気象予報士の中から「気象データアナリスト」が次々と生まれることを期待したい。

平成29年度 運営委員会開催状況、 広報活動、関係機関と連携した 活動等の報告

平成30年2月13日(火)
WXBC事務局(気象庁)

- 1．運営委員会開催状況
- 2．広報活動
- 3．関係機関等と連携した活動
- 4．気象庁の取組

1 . 運営委員会開催状況

● 第 1 回：平成29年4月12日

- ・今後の活動方針
- ・コンソーシアムの運営について
- ・第 1 回セミナーについて
- ・第 2 回気象ビジネスフォーラムについて

● 第 2 回：平成29年5月17日

- ・WXBCロゴのデザイン
- ・気象衛星「ひまわり」に関するシンポジウムの共催
- ・気象ビジネス推進コンソーシアム 細則
- ・人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバー選出
- ・運営委員から人材育成、新規気象ビジネス創出、広報担当の選出

● 第 3 回：平成29年6月14日

- ・気象ビジネス推進コンソーシアム 細則
- ・運営委員から広報担当の選出
- ・人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの追加
- ・6/2（金）第 1 回人材育成WG開催報告
- ・6/7（水）第 1 回新規気象ビジネス創出WG開催報告
- ・広報関係
- ・気象衛星ひまわりの大容量データの提供の概要

● 第 4 回：平成29年7月25日

- ・気象ビジネス推進コンソーシアム ロゴ使用規程（案）
- ・人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更
- ・今年度のWXBC総会、気象ビジネスフォーラムの開催日、会場
- ・6/21（水）第 2 回、7/19（水）第 3 回人材育成WG開催報告
- ・7/3（月）第 2 回新規気象ビジネス創出WG開催報告
- ・広報関係

● 第 5 回：平成29年9月11日

- ・気象ビジネス推進コンソーシアム 細則改正（案）
- ・運営委員の変更
- ・新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更
- ・WXBC後援の承認
- ・人材育成WG開催報告
- ・新規気象ビジネス創出WG開催報告
- ・広報関係
- ・気象庁の平成30年度概算要求について

● 第 6 回：平成29年11月9日

- ・人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更
- ・WXBC後援の承認
- ・気象データ活用のためのアイデアソンイベントについて
- ・第 2 回WXBC総会、気象ビジネスフォーラムについて
- ・人材育成WG開催報告
- ・新規気象ビジネス創出WG開催報告
- ・日射予測GPV試用提供開始
- ・広報関係

● 第 7 回：平成30年1月11日

- ・人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更
- ・WXBC共催の承認
- ・第 2 回WXBC総会、気象ビジネスフォーラム
- ・平成30年度のWXBCの運営体制・活動内容案（2/13 WXBC総会にて議決予定）
- ・広報関係人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更

2 . 広報関係 1/2

○ 広報担当の ヤフー（株）田中 真司 運営委員からアドバイスをいただきつつ広報の取り組みを実施中。

● メーリングリスト運用

WXBC会員向け、人材育成WG向け、新規気象ビジネスWG向けのメーリングリストを運用中。

● ニュースレター発行

- ・H29年4月20日より、WXBC会員向けメーリングリストにて発行開始。
- ・現在Vol. 25まで発行（H30年2月5日）。

● WXBCホームページ運用

- ・部外サーバーにてリニューアルしたWXBCホームページをH29年11月28日より順次運用開始。
- ・会員専用ページも開設し、気象データ分析チャレンジ！の動画等の資料、ニュースレター発行履歴、試用提供用の気象庁過去データを掲載中。

昼



夜



2. 広報関係 2/2

●WXBC Twitter運用 (@WXBC_jp)

- ・H30年1月より運用開始。メーリングリストと同様にWXBCのイベント、気象データの利活用に関する情報を発信



●WXBCチラシの更新 (H29年10月末～)



3 . 関係機関と連携した活動

- (一社) 全国清涼飲料連合会と連携した実証プロジェクト (H28年度～)
 - ・全国清涼飲料連合会と気象庁が共同して自動販売機における飲料販売量と気温の関係性を昨年度に調査。
 - ・今年度は共同調査結果を踏まえ、その先の実践的な取組として、気象データを用いた自動販売機の商品投入計画の作成と、それに基づく自動販売機の商品投入を試行的に実施し、効果の検証を実施。
- シンポジウム『気象衛星ひまわり～宇宙からの最先端データが切り拓く未来～』 (H29.7.22)
 - ・WXBCは気象庁、地球ウォッチャーズ - 気象友の会 - とともに主催
- 経済産業省 IoT推進ラボ 第3回ビッグデータ分析コンテスト(H29年10月～)
 - ・東京電力から提供される全国3カ所の太陽光発電所の発電量の予測と可視化。
 - ・WXBCは後援し、越塚会長が審査員として参加。気象庁も後援し、気象データを提供。
- CEATEC JAPAN2017 オープンデータサミット (H29.10.4)
 - ・東京大学越塚教授 (WXBC会長) がホストを務め、講演 & パネルディスカッション。気象庁長官、総務省審議官、国土地理院長がパネリストとして参加。WXBCについて周知。
- RGB画像に関するワークショップ オープンセッション (H29.11.9)
 - ・海外及び日本の先進的な気象衛星画像の利用技術を紹介。気象庁とWXBCの共催。
- 公共交通オープンデータ協議会 東京公共交通オープンデータチャレンジ (H29年12月～)
 - ・公共交通オープンデータを活用した新しいサービス、ビジネス等のアイデア、アプリケーションを募集。
 - ・WXBCは後援。気象庁はオープンデータパートナーとしてデータ提供。
- 農研機構 第11回農業気象研究会「気象情報を利用した作物の発育予測」 (H29.12.18)
 - ・気象情報に基づく作物の発育ステージ予測技術の理論、利用、実装に関する研究発表と議論
 - ・WXBCは後援。気象庁は共催。
- 岐阜大学 応用気象シンポジウム2017 (H29.12.4)
 - ・気象情報を工学的に活用するビジネス事例や研究事例に関する講演、これからの気象情報ビジネスの方向性について議論
 - ・WXBCは後援

4 . 気象庁としての取り組み

国土交通省生産性革命プロジェクト「気象ビジネス市場の創出」

- IoTやAI等の技術の進展により、幅広い産業において気象データを利用した生産性の向上が見込まれる。
- 基盤的気象データのオープン化・高度化や制度の見直しに加え、産学官の連携組織である「気象ビジネス推進コンソーシアム」の取組を通じて、新たな気象ビジネスの創出を推進。

データ提供の向上・改善

基盤的気象データのオープン化・高度化

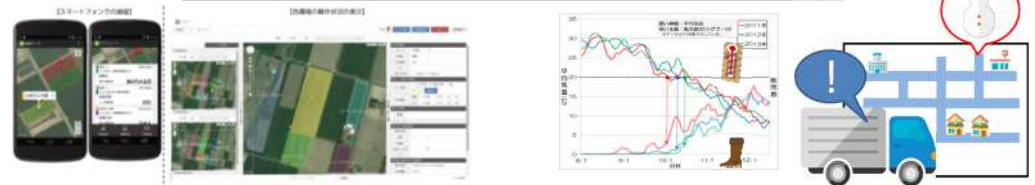
ビジネス環境整備

技術革新に応じた制度の見直し

異業種・産学官の連携促進

気象とビジネスが連携した気象データ活用の促進

IoT、AI等を活用した気象データの利活用の例



気温、雨量データ等を利用した農業アプリ
(収穫時期や農薬散布の最適化)

気温、降雪データ等を利用した小売・物流
(的確な需要予測・在庫管理の最適化等)

基盤的気象データのオープン化・高度化

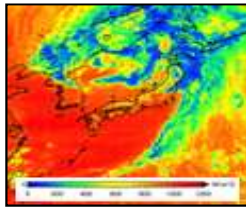
新たな気象データの提供

- 日射量予測データの提供 (H29.12.5開始)
- 2週間気温予報の開始 (H30年度予算)

過去データのアーカイブ整備

- 過去の気象観測データのデジタル化

等



日射量予測データ

技術革新に応じた制度の見直し（規制緩和等）

- 気象観測にかかる制度運用の改善 (H30年4月改正予定)
気象観測機器の検定有効期間の一部撤廃
気象観測の実施者が使用可能な機器の拡充
- 今後の気象ビジネスの更なる発展に向けた必要な環境整備の検討

気象とビジネスが連携した気象データ活用の促進

気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC)

H29.3設立

気象

気象事業者
気象研究者

IT

ITベンダー
IoT等研究者

ビジネス

各産業の企業(農業、小売、金融、建設、運輸、電力等)

人材育成

- セミナー、勉強会の開催
- 気象予報士の活用促進

新規気象ビジネス創出

- モデル事業の実施
- アイデアソン等の開催
- 企業間マッチングの促進

産学官の連携

生産性向上のための気象データ利活用モデルの構築 (H30年度予算)

- IoT、AI等での活用を念頭に新たな気象データを試行的に提供

4 . 気象庁としての取り組み

基盤的気象データのオープン化・高度化

- 「気象データ高度利用ポータルサイト」を開設（H29年3月～）

気象庁が発表する気象データ
気象庁が提供するデータの概要
気象庁では、気象衛星やアメダスなど国内外の様々な観測データを受信し、スーパーコンピュータを用いて、未来の大気状態を予測しています。これら観測・予測データをもとに、全国の気象台で予報官が各種情報を作成・発表しています。気象庁では、これらの情報・データを、あらかじめ定められた形式により、提供しています。
気象庁情報カタログ
気象庁が保有・提供する各種情報やその提供方法について、網羅的に記載したカタログです。
■ 気象庁情報カタログ
配信資料に関する技術情報
天気予報の基盤となる数値予報資料や観測データ等が変更された場合など、技術的に解説する資料を掲載しています。
■ 配信資料に関する技術情報

気象データの取得
気象庁防災情報XMLフォーマット形式電文の提供
気象庁が発表する気象情報を、2つの手段によってXML電文形式で提供しています。 気象庁防災情報XMLフォーマットの詳細は こちら
なお、ご利用に当たっては以下の点にご留意ください。
・サーバーメンテナンス等により、配信が停止・遅延する場合があります。
・利用者が公開XML電文を用いて行う一切の行為について気象庁は何ら責任を負うものではありません。
・気象情報の迅速かつ確実な配信については（一財）気象業務支援センターや予報業務許可事業者等にお問合せください。
■ "PUSH"型の提供
XML電文の更新情報をオープンなプロトコル（PubSubHubbub）を用いて通知します。 ユーザーは通知を受けて電文を取得します。通知の受信にはユーザー登録が必要です。
■ "PULL"型の提供
XML電文の更新情報をHP上に掲載します。 掲載された更新情報をもとに、ユーザーは任意のタイミングで電文の取得が可能です。ユーザー登録は不要です。
気象観測データファイルのダウンロード
気象庁のアメダスで観測した気象観測データを機械判読に適したデータ形式（CSV形式）で提供しています。
■ 最新の気象データ・ダウンロード
全国のアメダスの最新の降水量、最高・最低気温、最大風速、積雪量などのデータを、機械判読に適したデータ形式（CSV形式）でダウンロードすることができます。
■ 過去の気象データ・ダウンロード
昨日までのアメダスの気象観測データについて、取得したい地点や期間、データの種別等を選択し、CSVファイルとしてダウンロードすることができます。
気象予測データファイルのダウンロード
■ 過去の1か月予報気温ガイダンスデータ・ダウンロード
1か月予報の基となる過去の気温予測データをCSVファイルとして取得することができます。過去に遡った事例検証に必要となる予測データで、予測精度を調べる際に活用できます。
GPVデータのサンプルのダウンロード
気象庁が作成・提供する数値予報や観測・予報に関するデータには、規則正しい格子点（Grid Point）に区切って計算をしているものがあります。この計算結果であるGPV（Grid Point Value）データのサンプルを掲載しています。
■ サンプル

様々なサービスの開発シーンなど幅広い目的で
気象データに触れることができます。



<http://www.data.jma.go.jp/developer/index.html>

気象庁が提供する気象データの内容や解説を掲載

気象庁が発表する気象情報をXML電文形式で提供

気象観測・予測データを機械判読に適したデータ形式
（CSV形式）で取得可能

数値予報等の計算結果（GPVデータ）のサンプルを提供

- ポータルサイトでは、観測地点位置データなどの気象データと組み合わせて分析が可能なデータ、気象データの利活用事例なども掲載
- 今後も、様々なコンテンツを逐次追加予定

4 . 気象庁としての取り組み

基盤的気象データのオープン化・高度化

● 気象庁情報カタログ（運用中）

気象庁情報カタログ

気象庁情報カタログは、気象庁が保有・提供する各種情報（気象情報）のカタログであって、気象情報の利用促進を目的として作成するものです。気象情報を網羅的に記述するとともに、その提供方法についても紹介しています。
現在掲載している内容は概ね平成29年2月時点のものになりますが、可能な範囲で内容を更新しています。実際に提供している気象情報と仕様等が異なる場合がありますので、ご注意ください。

解説

▶ [気象庁情報カタログについて](#)

分野別に表示する



気象



地球環境・気候



海洋



地震・津波



火山



その他

検索する

※ チェックした項目を and 検索します。

提供方法	☐ 気象業務支援センター（オンライン配信） ☐ 気象業務支援センター（オフライン提供） ☐ 気象庁HP ☐ 気象官署等における閲覧
即時提供時のデータ形式	☐ XML ☐ バイナリ ☐ かな漢字 ☐ A/N ☐ カナ ☐ 画像 ☐ FAX
キーワード検索	
検索 リセット	

全ての気象情報を表示する

リンク

▶ [配信資料に関する技術情報](#) < 既存の情報の仕様変更や新たに提供する情報の仕様等の技術的な内容を掲載しています。 >

気象データ、各種情報をカタログとして掲載し、必要な情報を検索し、入手方法を知ることができます。



<http://www.data.jma.go.jp/add/suishin/catalogue/catalogue.html>

情報カタログの概要、使用方法等を掲載

各分野におけるデータの一覧を掲載
更に、詳細なデータの内容、提供方法も掲載

提供方法・データ形式・キーワードによる個別もしくは複数条件での検索による情報を表示
全てを入力すると、全ての条件に該当する情報が表示される。

全ての気象情報を一覧で表示

配信情報の技術的な資料を掲載

4 . 気象庁としての取り組み

基盤的気象データのオープン化・高度化

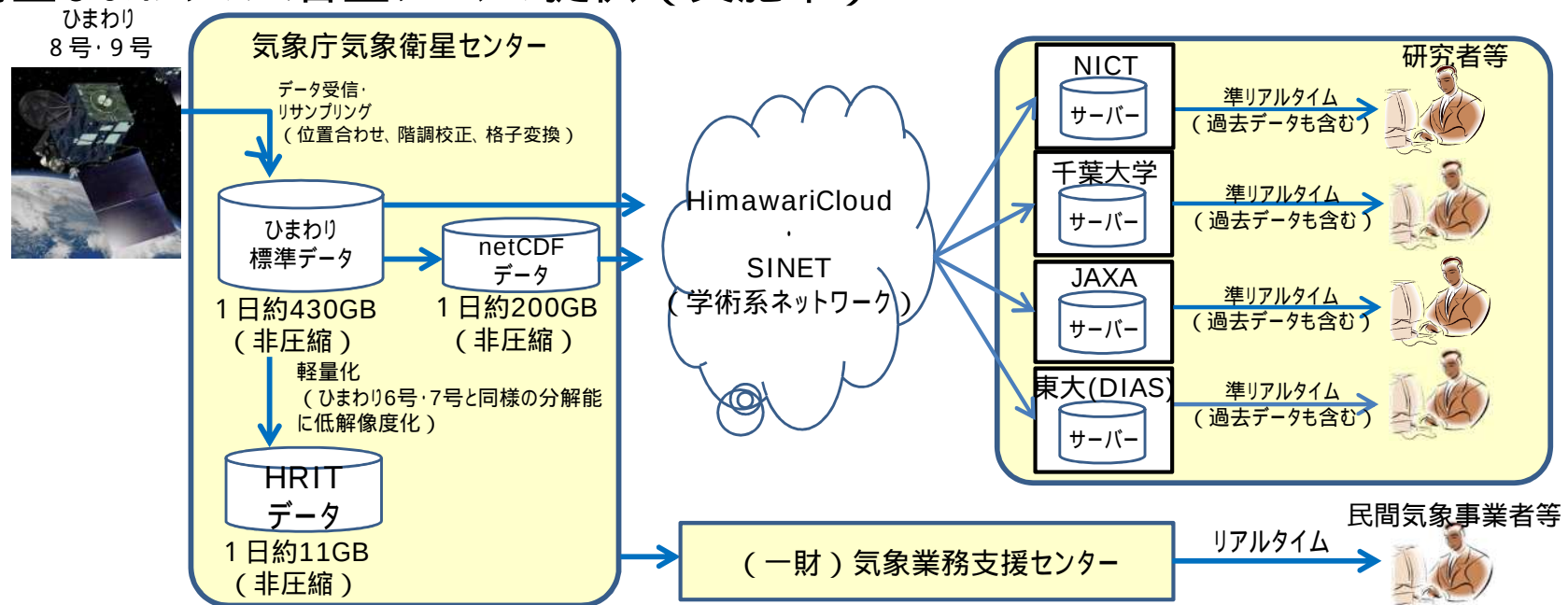
- 気象庁ホームページを通じたデータ提供（実施中）

過去の気象データ・ダウンロード

地点や期間、データの種類等を指定して、CSVファイルとしてダウンロードできます。

	A	B	C	D	E
1	ダウンロードした時刻: 2017/05/24 18:39:02				
2					
3	集計開始	集計終了	東京	東京	東京
4	年月日	年月日	平均気温(℃)	平均気温(℃)	平均気温(℃)
5			品質情報	品質情報	品質情報
6	2016/11/1	2017/1/31	8.7	8	1
7					

- 気象衛星ひまわりの大容量データの提供（実施中）

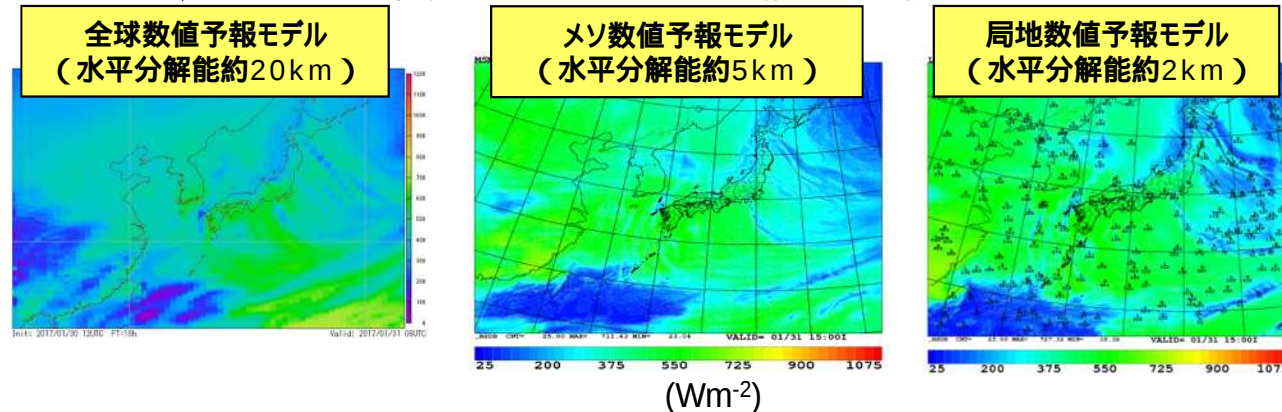


4 . 気象庁としての取り組み

基盤的気象データのオープン化・高度化

● 日射量予測データの新規提供

- ・H29年12月15日より、新たに日射量予測データの提供を開始
- ・それに先立ち、WXBC会員にサンプルデータを試用提供



● 2週間気温予報の新規提供 (H31年6月予定)

- ・農業・電力・アパレル等の産業界のニーズを受けて、新たに2週間気温予報を提供予定

日付		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
東京	最高 ()	週間 天気予報 (従来)							34 (32-36)	34 (32-36)	33 (31-35)	33 (31-35)	32 (30-34)
	最低 ()								27 (25-29)	27 (25-29)	26 (24-28)	25 (23-27)	24 (22-26)

← 2週間気温予報
(5日間平均)

技術革新に応じた制度の見直し (規制緩和等)

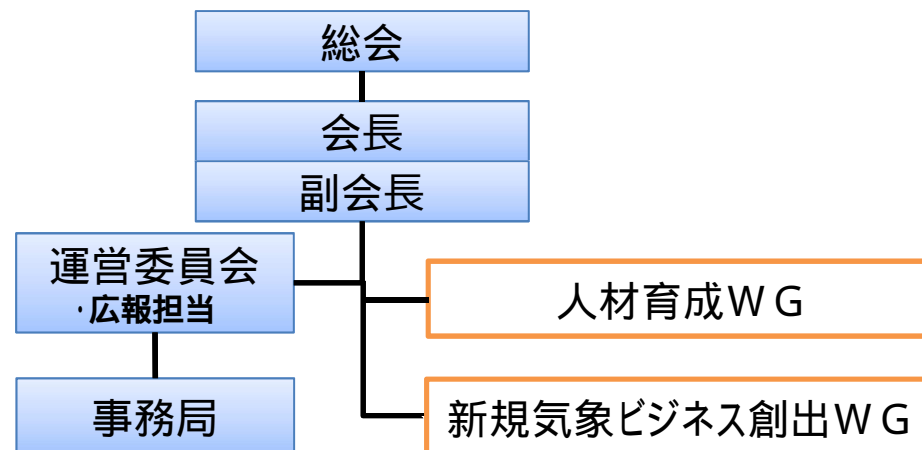
- 気象観測にかかる制度運用の改善 (平成30年度施行予定)

気象観測機器の検定有効期間の一部撤廃
気象観測の実施者が使用可能な機器の拡充

- 今後の気象ビジネスの更なる発展に向けた必要な環境整備の検討

1．運営体制

- 今年度と同様、総会、運営委員会、人材育成WG、新規気象ビジネス創出WG、広報担当の体制を継続する。
- 会長、副会長の任期はWXBC規約により2年、運営委員の任期はWXBC細則により2年となっていることから、現会長、副会長、運営委員には2年目として引き続きご担当いただく。
- 現広報担当にも引き続きご担当いただく。



2．活動内容

気象ビジネスフォーラムの開催

気象ビジネスフォーラムをWXBCの総会と併せて開催し、WXBCの活動の成果を効果的にアピール

関係機関、団体との連携

今年度VLED、IoT推進ラボと連携したように、関係機関、団体と連携してWXBCの活動を効果的に実施

人材育成WGの取り組み

WXBCセミナーの開催（東京及び地方都市）
勉強会（テクノロジー研修）の開催
（継続）気象データ分析チャレンジ！
（新規）IoTチャレンジ！AIチャレンジ！
マッチングイベントの開催＜新規気象ビジネス創出WGと連携＞
気象データ利活用人材の更なる育成方策の検討

連携

新規気象ビジネス創出WGの取り組み

新規気象ビジネス創出に向けた検討
・WGメンバー等の有志による自発的な実証実験
（気象庁は気象データに係る助言等の必要な支援）
アイデアソン・ハッカソンの開催
マッチングイベントの開催＜人材育成WGと連携＞
気象データの利活用事例集の拡充

気象庁の取り組み

データ要望の
フィードバック

WXBC会員から
のフィードバック

データ要望の
フィードバック

気象データに対する産業界のニーズを把握するため、気象庁から過去の気象観測・予測データや新たなデータを試行提供し、ビジネスにおいて利用しやすいデータについての要望を人材育成WG、新規気象ビジネス創出WG、WXBC会員から気象庁へフィードバックいただく。 1

平成30年度のWXBCの運営体制・活動内容（案）

人材育成WGの取り組み（詳細）

ビジネスにおいて気象データを活用できる人材を増やすため、気象データ理解力、ビジネス発想力、IT活用力を身に付けていただくことを目標として、セミナーや勉強会の企画・研修パッケージの開発・開催等を行う。

WXBCセミナーの開催（東京及び地方都市）

- ・気象データの理解度 & 認知度を高めるため、気象データに関する基礎的な説明を継続する。
- ・対象者別、分野別のテーマを設定する等、参加者の関心を高め、ビジネス発想力の醸成に役立つよう工夫する。

勉強会（テクノロジー研修）の開催

- ・少人数制で、気象データとビジネスデータを組み合わせ・分析する勉強会「気象データ分析チャレンジ！」を継続開催する。
 - 29年度に東京で実施した「気象データ分析チャレンジ！」の短縮版による地方都市への展開を検討・実施する。
 - 3次元データや確率予報データ等を扱う「気象データ分析チャレンジ！」第2弾、第3弾の企画・開催を検討・実施する。
- ・IoT、AIに関するセミナーや勉強会の準備を開始し、30年度内の開催を目指す。

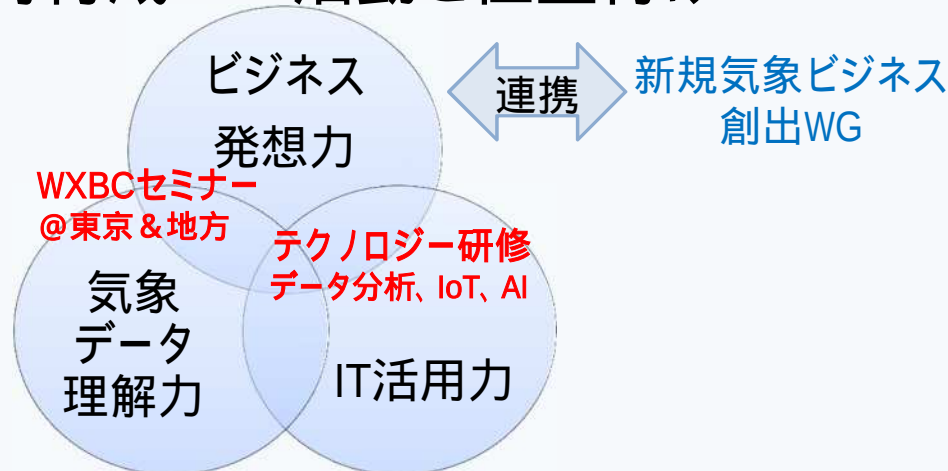
マッチングイベントの開催＜新規気象ビジネス創出WGと連携＞

- ・新規気象ビジネス創出WGと連携・協力し、異業種間のマッチングイベント等を企画・開催する。

気象データ利活用人材の更なる育成方策の検討

- ・WXBCセミナーや勉強会における参加者アンケート等を分析し、気象データを活用できる人材の更なる育成、増強のための方策を検討し、WXBCセミナー、勉強会等への反映を行う。

人材育成WG：活動と位置付け



平成30年度のWXBCの運営体制・活動内容（案）

新規気象ビジネス創出WGの取り組み（詳細）

気象データを活用した新たなビジネスの創出に向け、気象データの試用提供、WGメンバーによる自発的な実証実験、アイデアソン・ハッカソンの開催、異業種間のマッチングイベントの開催等を行う。

新規気象ビジネス創出に向けた検討

- ・WGメンバー等の有志により自発的に行われる実証実験の結果について、可能な範囲でWGにご報告いただくとともに、気象ビジネスフォーラム等の場でご発表いただく。
- ・気象庁は気象データに係る助言等の必要な支援を行う。

アイデアソン・ハッカソンの開催

対象とする産業や気象データ等のテーマを設定したアイデアソン・ハッカソンを開催する。

マッチングイベントの開催＜人材育成WGと連携＞

気象ビジネスフォーラムやWXBCセミナーの機会を捉えて、異業種間のマッチングを促進する場を設ける。

気象データの利活用事例集の拡充

今年度作成した事例集に、新たなビジネス事例を追加して拡充する。